

第1回 内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会 議事録

○日時 令和7年11月5日（水） 午後7時から8時9分まで

○会場 芝川公民館内房分館

○出席

【委員】(欠席1名)

望月 康弘	会長	高木 みどり	副会長	遠藤 哲史	委員
望月 邦哉	委員	遠藤 和斗	委員	勝又 健太	委員
望月 修	委員	遠藤 史郎	委員	中谷 俊雄	委員
近藤 千鶴	委員	鈴木 弘	委員		

【事務局】

望月 俊伸	教育長	石川 佳和	教育部長
佐野 浩市	教育総務課長	斎藤 治	学校教育課長
佐野 達也	学校教育課参事	佐野 和也	企画戦略課長
植松 弘美	教育総務課主幹兼総務係長	土橋 彦六	教育総務課総務係主査

○次第

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議事
 - (1) こどもたちの未来を考える協議会の進め方
 - (2) 内房小学校の再編に関する状況
 - (3) 内房小学校の再編に関する教育委員会からの提案
- 6 次回の予定
- 7 閉会

○会議内容

1 閉会

2 教育長挨拶

(教育長)

内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会の開催にあたり、教育委員会を代表して一言御挨拶申し上げます。

はじめに、本日御出席の皆様方におかれましては、御多用のところ内房小学校のこどもたちのために、本協議会の委員をお引き受けくださいまして、誠にありがとうございます。

本協議会は、近年、本市における喫緊の課題となっている児童生徒数の減少、そしてそれを踏まえてこどもたちにより良い教育環境を提供していくため、内房小学校の再編をどのように進めていくかについて、皆様に協議していただくための重要な場だと考えております。

学校は、地域コミュニティの核であることはもちろんのこと、昨年、内房小学校では150周年を迎えたが、長きにわたり、内房小学校は地域とともに歩み、多くの卒業生を送り出してこられました。この歴史と伝統に対する皆様の深い思いは、私ども教育委員会も十分に承知しております。

しかしながら、教育委員会としましては、これから富士宮市を担うこどもたちにより良い教育環境を確保する責務がございます。

これから社会の担い手として、こどもたちが羽ばたいていくために、学校では、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。そのためには、一定の規模の人数を確保していくこと、つまり学校の再編は避けては通れない課題だと認識しております。

本協議会では、昨年及び今年に開催した意見交換会の状況や今後の児童数の推移、内房小学校の現状や今後などを踏まえていただき、内房小学校の今後の方向性について、徹底的に議論し、結論を出していただきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、内房地区のこどもたちにとってより良い教育環境がどうあるべきか、それぞれのお立場で積極的に御意見を頂きますようお願い申し上げ、開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

3 自己紹介

委員及び事務局の出席者が自己紹介を行った。

4 会長及び副会長選出

選出について、事務局案を提示し、これが承認された。

(教育部長)

教育委員会といたしましては、協議会の会長につきましては、区長会連合会の理事であり、また、芝川地区区長会の会長でもある内房第2区長の望月委員に、副会長につきましては、内房地区の保護者のまとめ役でありますPTA会長の高木委員に御就任いただきたいと考えております。(委員の拍手をもって承認された。)

(教育総務課長)

ここで会長と副会長に一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。

(会長)

こどもたちの未来を考える協議会ということで、重要な協議会になりそうな雰囲気ですけれども、私なりにどの程度できるか、やらせていただきます。どうか皆様のご指導とご協力よろしくお願ひいたします

(副会長)

ただただこどもにとって何が良いのかということを真剣に考えていきたいと思います。よろしくお願ひします。

5 議事

(1) こどもたちの未来を考える協議会の進め方

本協議会の概要について、下記のとおり説明を行った。

- ・目的：再編対象校の地域住民、児童の保護者及び未就学児の保護者等を委員として、こどもたちの未来を第一に考え、地域主導で学校再編の方向性を協議する場である。
- ・協議内容：①学校再編に関する方向性、②その他学校再編に関し必要な事項
- ・開催回数、期間：回数は3～5回程度、期間は半年～1年程度※ただし、協議会の進捗状況によってはこの限りではない。
- ・進捗状況の周知：協議会ごとの内容をまとめた「こども協議会だより」を作成、市のHPへの掲載や地区への回覧を実施する。
- ・協議の終了：方向性が決定したら、意見書を作成し、意見書の内容が決定した段階で協議を終了する。また、協議会で結論が出ず長引く場合は、協議を再開するめどを決定した上で、一旦協議を終了する。
- ・意見書の提出：決定した意見書は、会長・副会長が教育長に提出する。
- ・協議会終了後の流れ（統合する場合）
 - ①代表者会議・・・統合を行う学校の代表者同士で統合時期等を決定する。
 - ②統合準備委員会・・・①に教職員を加え、学校の統合に関する具体的な事項を決定する。
- ・会議の公開：会議は原則公開とする。

(委員)

ここまで来るまでに意見交換会が開かれてきて、その中で私も聴講させていただいたわけですけれども、方向性としては皆さんのお見がほとんどだったのですが、統合でしかないのかなど。ただ、統合した場合の児童の、どこに小学校が統合されるのかわかり

ませんけれども、その辺の話が一番重要な課題ということと、そこまで行く方法が一番重要になるかと思います。そうすると、会議を何回か開催する必要がないのかななんて思ったりもします。私が一番知りたいのは、方向的には決まっているような雰囲気が、今までの会議の中ありました。統合という形でした方がいいんじゃないかという意見がすごく多いような気がいたしました。ただそこまでに行くためのスクールバスを使うとか、この地区においては重要な課題になるかなということでありますので、まとめてその辺を中心に結論づけて、教育委員会の考え方等をお聞きしたら、なんとなく話がしやすいのかなと思いました。

(教育総務課長)

この後の議事(3)で教育委員会からの提案ということでお示しをさせていただきますので、またそこでご質問等いただければなと思います。

(委員)

方向性ということで、統合するかしないか、延期かの三つですよね。その答えが出るまで決まらないようだったら延期という話ですよね。それとも統合ありきで話をするのか。

(教育総務課長)

それは今日ここでも決まらないかもしれません、統合でいくよということであれば、先ほど私が申し上げたその次の議事(3)のところで提案をさせていただきますが、いやまだもう少し考えたいよというところであれば、また次の協議会でその方向性をというところになろうと思います。

(2) 内房小学校の再編に関する状況

市及び芝川地区の児童生徒数の推移及びこれまで実施した全4回の意見交換会及び内房小学校の臨時PTA総会で出た意見について説明した。

(3) 内房小学校の再編に関する教育委員会からの提案

芝富小学校への編入統合（令和9年4月案、令和10年4月案）について提案した。

(会長)

これからまた話し合っていかなければならない問題ですけど、とりあえず今日あたりでの考え方を伺います。

(委員)

今回の提案は芝富小学校と内房小学校が一緒になるという提案で、稻子小はどうでしょうか。

(教育総務課長)

まず、今回内房小学校にこういう説明をしている中で、将来的には稻子小もというところもあるのですが、なかなか学校が異なるものですから、まずは内房小学校の保護者はどう考えるかというところで保護者懇談会や地域説明会をさせていただきました。その中で、保護者の方がなるべく早めに統合をというところの中で、スピード感を持って

やっていただきたいという意見を多くいただいた中で、また方針を示すように言われたものですから、今回、なかなかこれはちょっとタイトですけれども、本当に早くやるとしたら令和9年4月ということでお示しをさせてもらいましたが、先ほど担当が説明したように、かなり厳しいスケジュール感なですから、現実的には令和10年4月なのかなというところではございます。稻子小につきましては、今月保護者の方に、内房小で言うと6月に開催した意見交換会をやる予定でございます。今日のこの協議会で方向性に関してある程度意見が出れば、今内房小ではこういうような形で進んでいますよというところで、もしかすると足並みが揃うのかもしれないですし、いやいや稻子小はこうですよとなるのか、なかなか二つを同時にというのは難しいのかなと思っていますので、まずは内房小のこどもたちがどうあるべきかというところで、まずはそこで進めていきたいと考えています。

(委員)

芝富小には話はしていないんですか。

(教育総務課長)

芝富小にはしていないです。これから協議が進んで、内房小がそういう合意がなされてないのに芝富小に行くという話をするというのは、昨年、こういう学校再編を考えていますよというところで、芝富小の保護者には説明をして、芝富小学区の区長さん達にもこういう方針、再編を進めていますよという話はしていますので、教育委員会がそういう動きをしているのは知っているかと思います。

(委員)

ただ向こうは受けるだけですよね。人が増えるだけですから、まだ、その話し合いすらもしていないので、だからこういう問題が出てくることを考えてないのかなと思っています。すごく無理して統合したいと思っていない親も多いです。逆にその辺の意見も聞かないと分からぬ。人が増えるのは良いことだと、そういうのは分かっているんですけど、色々と問題も出てくる。こっちで主体で話して、どうなのかなと思います。

(副会長)

資料の4-4を見ていただければ、市の方で話を聞いた後にもう1回保護者で話し合った意見がここに入っているんですけど、これを飲んでくれるならば、一緒になってもいいかなぐらいの感じなので、これは内房小学校PTAの意見として見てもらえたと思うんですけども、例えば、学校名を芝富小学校で行くのではなくて、新しい学校名にしてほしいとか、それを飲んでくれるならというような感じで考えています。

(委員)

私も現役の時に内房中学校と稻子中学校と芝富中学校が一緒になって芝川中学校ができたんですね。ですから、私が思うには、それと同じような形で、芝川小学校のようになつたら良いのではないかと思います。

(委員)

資料5で行きますと、第1回のこども協議会というのがあります、1月までに統合の方向性を決定するとなっていました、8月頃に第1回代表者会議ということで統合の

可否、統合時期となっているんですけど、この会議の中で方向性を決定し、代表者会議の方で統合の可否を決定するというはどういうことなのでしょうか。

(教育総務課長)

資料5でいいますと令和9年4月の統合の場合なものですから、かなりのタイトなスケジュールというところで、まず協議会で統合の方向性というのはこの1月中に決めてもらわないと、もう1年ちょっとしかないですから、それをここで決まったとします。そして先ほど担当説明したように教育長に意見書を提出して、例えばですけどこの案でいくと、芝富小の編入でいきたいですというところに行きます。そうすると、その後、この代表者会議が、例えば今回芝富と内房ということになりましたら、そこにそれぞれ出ていただいて、そこで分かりませんが、いや、統合は嫌ですというかどうか、その辺も分かりませんが、そこはしっかりと代表者に出ていただいて、統合の可否を決めてそこで合意ができる初めて統合に向けて進みますよというところです。

ですので、資料6のスケジュール感で、仮に令和10年4月であれば、この協議会を何回か重ねた中で、もし芝富小と編入するよという流れであれば、この令和8年5月頃とか、約半年ぐらいの中で皆さんに協議していただくようにはなるんですけども、ただ、今いろいろな意見を聞きますと、必ずしも統合を望んでいる保護者ばかりではないという意見もあるものですから、その辺で意見を出していただく中で、今日この会議をもって令和9年4月に統合とか令和10年4月に統合を決める場でもないものですから、いろいろな意見をいただければなと思います。

(委員)

だからこのこども協議会の場では、統合の方向性を探って、それに向けての要望みたいなものをまとめて出すということですね。

(教育総務課長)

先ほどこの資料3－2で、再編に関する意見書というのを作成する中で、スクールバスは絶対出し運行してほしいよとか、学校の跡地利用はこういうことしてほしいよとか、そういうことを皆さんで再編するのであれば、まとめていただいて、意見書を提出というところが、方向性を決定というところになります。

(委員)

先ほど副会長が言われた条件、学校の名前とか、希望することをまとめて出して、それをもって代表者会議という相手方とも交えた会議を設けた中で話し合いをするという流れですね。

(委員)

PTA内で話し合ったりもしたんですけど、それってこういう具体的な案が出てない状態で話していますよね。前回、例えばこういう提案してくれたらもっと深い話がPTAでできたんですけど、前回はふわっとしていたじゃないですか。こういう状況で統合しませんかぐらいの言い方でしたけど、今回この話を実際提案されているので、具体的に言えば、もっと保護者も意見が出せるのではないかと、編入は嫌だとか、先ほど言われたように新しい学校名、芝川小だったらとか、具体的に意見を出せますし、問題

点もいっぱい出せるので、この意見だけだと、ふわっとしていたので、話さないと分からない。

(委員)

そういう話し合いは必要ですよね。

(教育総務課長)

またそういう場を設けるのもいいですし、またこれを持ち帰って、例えばそれぞれの立場で、内房小のPTAの会合で、こういうものが示されたとか、区長さんは地元にというところで、また皆さんに下ろしていただいて、そこでまた意見を吸い上げていただいて、また第2回の協議会でぶつけていただければなと思います。

(委員)

それが決まらないと困る人もいるのではないかと思うのでしょうか。それを先に決めてもらいたいと思います。スクールバスはどうなんですか。

(委員)

統合するのであれば、必要かもしれません、条件がいろいろあると思うんです。スクールバスがないとか、体育祭はとか、例えばたけのこまつりとか桜まつりとかいろいろあった行事はどうするかとか、いろいろ問題が出てくると思うんですけど、そういうやり方とかは、PTAはまだこの提案自体も知らないので意見が出てこない。

(委員)

この提案が出れば、もっと詳しい話ができるでしょうし、議論が深まるというか、今の学校名とか、統合した場合、統合しない場合のメリット、デメリットが明確になる。

(会長)

統合ありきで進めるかどうかはまだ検討の余地があるのでしょうか。

(委員)

別に内房小は、人が多ければ多い方が良いのは分かるのですが、別に困っていないからこれまでいいという人もいます。

(会長)

個人的には自分の卒業した学校がなくなるのは嫌という人がほとんどだと思います。残せるものなら残してもらいたいという気持ちはあります。私は子どもの意見が聞きたかったんです。中学生とか高校生の意見を聞いたかったです。卒業していった人が、内房小学校を卒業してどうだったのか聞いたかった。

(教育長)

教育委員会の考え方、提案としては先ほど出したことを、ぜひ進めなければなというような形で、前回ご提案したような、まだはっきりわからないという状況の提案ではなくて、教育委員会としては、子どもたちの環境等を考えたときに、この方向で、スケジュールは2パターン出しましたけれども、できればこの形で進められたらありがたいですという意見はこちらとしては持っているということを、またご理解した上でまた話し合いをしていただければと思います。

(会長)

再編がなくなる可能性が全然残ってないわけですか。教育委員会としてはどうですか。

(教育長)

教育委員会としては先ほどの案が提案ということになります。その形として、どこがとか、名前をどうするかとか、スクールバスとかというのは様々なものがあるのかもしれません。

(委員)

今は全部複式学級で、支援員が今、市の予算で、なかなかつけづらいという状況の中で文部科学省はこの複式学級というのは、解消する方にと言われているわけで、複式学級というのはなかなか教育の理念から少しちょっと遠ざかるのかなと。こどもにとってこの複式学級が良いのか悪いのかということを考えたときは、やはり解消すべきだと私は思っています。そして、これから外国人ですとか多様な人たちが学ぶ中で、今の少人数の中ですと、そういうことも対応できないのではないのかなと思いますし、また、この富士宮でこどもたちが同じ教育環境の中で教育を受けさせたいなとすごく思いますので、私としては、やはり一刻も早く統廃合していただいて、やはりある程度の人数がないと、助け合ったり、またいろいろ思いやったりするという、そういう社会性というのは身につかないと私は思っていますので、地域もこどもたちのためにあるわけであって、こどもたちが一番ですので、確かに学校がなくなってしまうというのは、寂しいかもしれないけど、まずこどもたちにとって何がいいかということを私達大人は考えていかなくてはいけない。前回の8月のときの地域の方たちのご意見の中には、一刻も早くしていただきたいという方が多かったです。そして、高校生とか中学生も来ていましたけど、僕もこどもたちのために合併してもらいたいというようなことは聞いたような気がするのです。ですから、もうずっとその話でいくのかなと思って今日ここに参加させてもらったのですけど、今そういうお話を聞いて、ちょっと驚いたんですけども、また、資料4-4のようなご意見もあるということで大変驚きました。

(副会長)

言えなかったみたいで、皆が賛成の方に流れてしまつた。

(会長)

複式学級はどんな弊害があるんですか。授業参観を見ると楽しそうにやっていました。30人超えたらあの雰囲気は出せないんじゃないかなと思います。

(委員)

人間関係が固定化して逃げ場がないんですよね。だから、ずっとそれを引きずつていかなければならない。

(委員)

それは統合しても変わらないんじゃないですか。2クラスになるわけではないので。複式とどちらが良いかというと普通のクラスが良いというのは皆分かっています。その上でどちらが良いのか、移動とか場所の問題とか、その辺を聞かないと分からない。

(委員)

こういう案が出たわけですから、PTA の何らかの機会でこれをもとにまた話し合いの場をもつたら良いと思います。

(委員)

割と違和感があつて、ここに来る前に2回ぐらい意見交換会に出してもらったんですけど、私が参加した意見交換会では今回の統合という意見ももちろんあったんですけど、割と統合したくないという意見も多かったかなと思います。今意見を見ていたんですけど、今回、統合したいよという場合に対するフィードバックがあるんですが、問題があるということに関して、特にアンサーがなかつたかなと思いますので、次回教育委員会の方からある程度この反対する意見の方に対するアンサーを取り上げていただきたいと思います。今後統合に進んでいくとしても、やっぱり一定以上の反対意見の方はいると思うので、そういう方に寄り添う姿勢を見せるのも大事かなと思うので、反対されている方だけを集めて意見交換なんかもと思っていますけど、反対される方の納得を得ないまま進めちゃうというのも、時間はかかりますけど、足早に進める内容でもないのかなと思っていますので、反対されている方の意見ももう少し尊重してあげたいかなと思います。

(教育長)

先ほど複式であつたり、小規模の当然のメリットもあって、こどもたちと先生の関係も近いですし、よく目が届くというそういう良さもあります。どうしても今こどもたちにしてみれば内房小が大好きというこどもたちばかりだと思います。自分の学校が嫌いという子はそうそういないかなと思いますので、今の先生方、学校が一生懸命小規模であつてもこどもたちが十分満足できるようにということで、教育環境をできるだけ整えて、大規模校にはない良さを、内房小で整えてくれているがためにこどもたちが内房小大好きというふうに言ってくれているんじゃないかなと思っていてそれは、私は教育長として、非常に学校の先生方もそうですし、支えてくださっている保護者の方も地域の方もそういう状況でこどもたちに大事に育ててくださっているので、今があるかなというふうに思ってるところです。また今だけじゃなくて当然これから先に、小学生になってくる子たち、それから小学校を卒業して中学校、高校、社会に出ていくということも考えたときに、やっぱり今の環境でいいところもあるし、少人数のために、やっぱりある程度いろいろな他者と関わるという部分で、こどもたちもそうだし、先生もそうですし、そういう環境が他と比べてということになりますけれども、こどもたちや先生が多い環境の中で考えると、少し不足感があるのかなということは、感じているところです。

(委員)

資料3－1のように今回こういう会議を行つたというのを出すと思います。例えば、芝富小に話をするのも同じように出すのでしょうか。

(教育総務課総務係主査)

芝富小でこのような協議会が開かれたら、同じように発信はしていきます。

(委員)

そっちの賛成、反対意見も見たいなと思ったので、こちらが気づかないところもあると思うので。

(会長)

その他にご質問やご意見等はございませんか。ないようでしたら、それでは以上を持ちまして、本日の議事はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

6 次回の予定

第2回の日程を、令和8年1月21日（水）午後7時からに決定した。

7 閉会

(副会長)

皆様、本日はありがとうございました。PTAは今日の会のことを保護者に報告して、また話し合いたいと思っています。これからも内房小学校のこどもたちにとってより良い方向性になるよう、今後も活発なご意見をよろしくお願ひいたします。

以上を持ちまして、第1回内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会を終了いたします